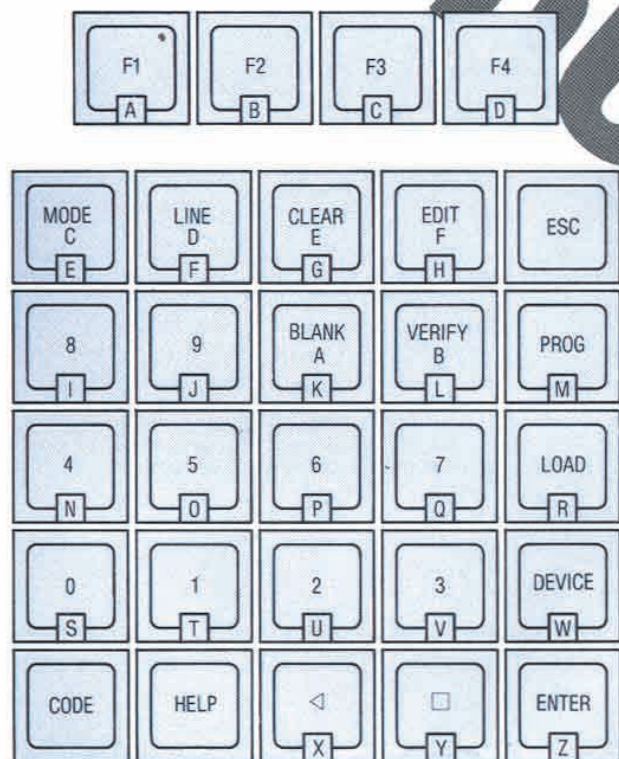


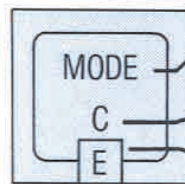
PECKER-30のキーボードについて

PECKER-30のキーボードは、ファンクションキー、コマンドキー、データキー、特殊キーなど計29キーで下記のように構成されています。ファンクションキーはLCD画面のファンクション表示と対応しており、対話形式のオペレーションに使用されます。また、もっとも頻繁に使用されると思われるコマンドをコマンドキーに独立させ、キー操作の簡略化を計っています。データキーは、各種パラメータやデータを入力する為のキーです。特殊キーの中には、コマンドを実行させるENTERキーを始め、ヘルプメニュー用のHELPキー、操作を中断する為のESCキー、ダイレクトに全てのコマンドを指定できるCODEキーなどがあります。

PECKER-30キー配列



PECKER-30のキーについて



◀キー配列一覧

COMMAND REFERENCE GUIDE PECKER-30

- ダイレクトにコマンドを実行させるコマンドキー、及び特殊キー。
- パラメータやデータを入力するデータキー。
- 全てのコマンドをキーワード(2文字)で入力するアルファベット(26文字)キー。CODEキーと同時に各キーを押すことで対応。

 **AVAL DATA CORPORATION**

[] = スペースキー。設定条件を仮設定します。[ENTER] キーで正式に決定されます。([ENTER] キーはコマンド実行キーです。)

△印は、ADP-A使用時のみ対応するコマンド

\$印は、ADP-Aを除くアダプタに対応したコマンド

★印は、キーオペレーションの一部(設定項目等)を省略することができます。

PROGRAMMODE プログラム・モード

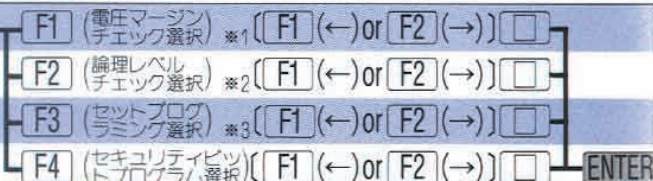
キーオペレーション

コマンド

BLANK [ENTER]

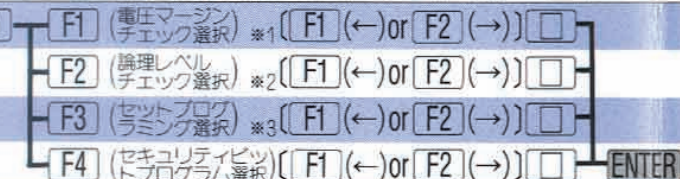
[ブランクチェック] ソケット上のデバイスが消去されているが確認します。

★ [PROG]



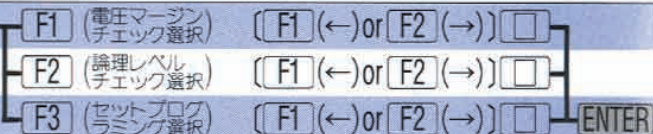
[オートプログラム] バッファRAMのデータをソケット上のデバイスへ書き込みます。
(ブランクチェック→プログラム→ベリファイチェック)

★ [P] [0]



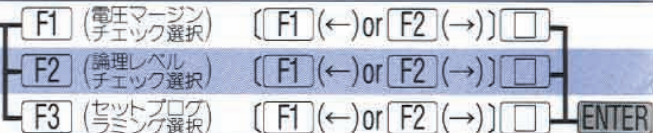
[プログラム] バッファRAMのデータをソケット上のデバイスへ書き込みます。
(プログラム→ベリファイチェック)

★ [LOAD]



[ロード] デバイスのデータをバッファRAMへロードします。\$

★ [VERIFY]



[ベリファイチェック] ソケット上のデバイスとバッファRAMの内容を比較します。\$

[E] [R] [ENTER]

[電氣的消去] 電氣的消去可能なデバイスを消去します。

※1. ADP-A使用時 [F1] = ロジックレベル選択

※2. ADP-A使用時 [F2] = セキュリティビットプログラム選択

※3. ADP-A使用時 [F3] = ベクタテスト実行選択

アルファベットのキーは、CODEキーと同時に押します。

各コマンドの[A] (2文字) キーは、コミュニケーション時のコマンドキャラクタとなります。コマンドのダイレクトキーは、それぞれ下記のようなコマンドキャラクタとなります。

(PROG)=[P][G]、(BLANK)=[B][L]、(VERIFY)=[V][F]、(LOAD)=[L][D]、(DEVICE)=[D][V]、(EDIT)=[E][D]、(LINE)=[L][N]

DEVICE SELECT MODE デバイス・セレクト・モード

キー・オペレーション

DEVICE DEVICE ENTER

DEVICE F1 ([F1] (or) [F2] (→)) □
F2 ([F1] (or) [F2] (→)) □
F3 ([F1] (or) [F2] (→)) □
F4 ([F1] (or) [F2] (→)) □ ENTER

C H ENTER F1 (YES) ... (アダプタ交換作業) ... ESC

S U ENTER F1 (YES)

CODE + F1 を押しながら電源ON... さらに3秒間押し続けます。

コマンド

(オートデバイス選択) デバイスに内蔵されているIDコードを読みとり、自動的に対象デバイスの条件を設定します。(B、Dのみ)

(デバイス選択/メーカー名選択)

(デバイス選択/デバイス名選択)

(デバイス選択/容量・ピン数選択)

(デバイス選択/書き込み方式選択)

(アダプタ交換) バッファRAM内のデータを保持したままPECKER-30のアダプタの交換を行います。

(メーカーセッティング) PECKER-30の各設定項目をメーカー出荷時の設定に初期化します。

(メーカーセッティング(コールドスタート)) (LCD disable及びキー操作不能時) バックアップメモリをイニシャライズします。

EDIT MODE エディット・モード

キー・オペレーション

EDIT F1 アドレス □ データ □ ([F1] (←) or [F2] (→)) ... ENTER
F2 アドレス □ データ □ ([F1] (←) or [F2] (→)) ... ENTER

CLEAR F1 ENTER

F2 ENTER

CLEAR ([F1] (←) or [F2] (→)) ENTER

B I F1 ENTER

F2 ENTER

M V アドレス □ アドレス □ アドレス ENTER

F L アドレス □ アドレス □ データ □ ... ENTER

I N アドレス □ アドレス □ データ □ 挿入サイズ ENTER

D L アドレス □ アドレス □ アドレス □ データ ENTER

S R アドレス □ アドレス □ データ □ ... ENTER

S T F1 アドレス ENTER

コマンド

(RAMエディット) バッファRAMのデータの参照や変更を行います。\$

(ROMエディット) ソケット上のデバイスのデータの参照及び1バイトプログラミングを行います。\$
※[E][S][R]にて1バイトプログラミング可能に設定して下さい。

(ヒューズエディット) PECKER-30+ADP-A単体では使用できません。[L][N]
コマンドでターミナル等に接続する必要があります。[A]

(バッファクリア・1) 選択されているデバイス容量分バッファRAMをクリア(FH)します。\$

(バッファクリア・2) 本体全バッファRAMをクリア(FH)します。\$

(バッファクリア・3) バッファRAMデータを()もしくは(×)にします。[A]

(バッファ反転・1) 選択されているデバイス容量分データをビット反転します。\$

(バッファ反転・2) 本体全バッファRAMデータをビット反転します。\$

(ムーブ) バッファRAMの指定区域のデータを別の区域へ移動します。\$

(ファイル) バッファRAMの指定アドレス間のデータを書き換えます。
(データMAX8)\$

(インサート) バッファRAMの指定アドレスにデータを割り込ませます。\$

(デリート) バッファRAMの指定した区域を削除します。\$

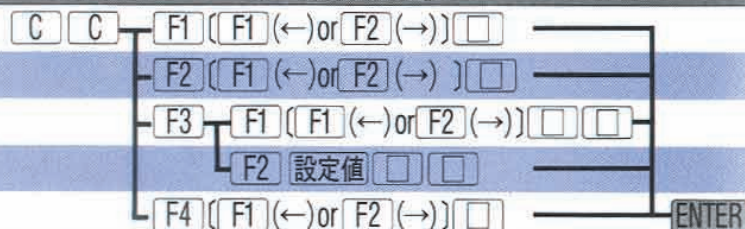
(サーチ) バッファRAMの指定区域で指定したデータ列を検索します。
(データMAX8)\$

(バッファRAM先頭アドレス) バッファRAMの先頭アドレスを設定します。\$

COMMUNICATION MODE コミュニケーションモード

キー・オペレーション

コマンド



[通信条件設定/データビット長選択] 通信条件を設定します。

[通信条件設定/パリティ条件選択] * [] キーは仮設定キーです。設定条件を仮設定します。[ENTER] キーは決定キーとなり、押すことでコマンドを実行し、[C][C] モードから抜けます。

[通信条件設定/ストップビット選択]

[通信条件設定/ディレイ値設定]

[通信条件設定/ボーレート選択]

[F][M]([F1](<)or[F2](>))[ENTER]

[フォーマット設定] 転送フォーマットを設定します。*ADP-Aを除く

[C][M]([F1](<)or[F2](>))[ENTER]

[コンパイル設定] 各種コンパイラを設定します。*ADP-Aのみ対応

[R][R] F1 [ENTER]

[シリアルデータ受信・1] 選択したデバイス容量分シリアルI/Fからデータを入力します。*容量を超えたデータは先頭アドレスに受信されます。

*4 [R][R] F2 [ENTER]

[シリアルデータ受信・2] 本体全バッファ領域へシリアルI/Fからデータを入力します。*バッファ領域を超えるデータは先頭アドレスに受信されます。

[R][R] F3 アドレス [ENTER]

[シリアルデータ受信・3] 指定したアドレス領域にシリアルI/Fからデータを入力します。*領域を超えたデータは読み捨てます。

[R][C] F1 [ENTER]

[パラレルデータ受信・1] 選択したデバイス容量分パラレルI/Fからデータを入力します。*容量を超えたデータは先頭アドレスに受信されます。

*5 [R][C] F2 [ENTER]

[パラレルデータ受信・2] 本体全バッファ領域へパラレルI/Fからデータを入力します。*バッファ領域を超えるデータは先頭アドレスに受信されます。

[R][C] F3 アドレス [ENTER]

[パラレルデータ受信・3] 指定したアドレス領域にパラレルI/Fからデータを入力します。*領域を超えたデータは読み捨てます。

[T][R] F1 [ENTER]

[シリアルデータ送信・1] 選択したデバイス容量分シリアルI/Fからデータ出力します。

*6 [T][R] F2 [ENTER]

[シリアルデータ送信・2] 本体全バッファ容量分シリアルI/Fからデータを送信します。

[T][R] F3 アドレス [ENTER]

[シリアルデータ送信・3] 指定したアドレス領域のデータをシリアルI/Fから出力します。

[T][C] F1 [ENTER]

[パラレルデータ送信・1] 選択したデバイス容量分パラレルI/Fからデータを送信します。

*7 [T][C] F2 [ENTER]

[パラレルデータ送信・2] 本体全バッファ容量分パラレルI/Fからデータを送信します。

[T][C] F3 アドレス [ENTER]

[パラレルデータ送信・3] 指定したアドレス領域のデータをパラレルI/Fから出力します。

[R][A] アドレス [ENTER]

[アバールフォーマット高速受信] パラレルI/FからバッファRAMCAVALフォーマットでデータを受信します。

[O][F] アドレス [ENTER]

[オフセットアドレス設定] 転送フォーマット内のロケーションアドレスに対するオフセットを設定します。

[LINE]([F1](<)or[F2](>))[ENTER]

[オンライン] ホストよりPKW-3100が操作可能になります。

*4. ADP-A使用時 [R][R] [ENTER] = シリアルI/F受信(本体全バッファ領域へ入力) *5. ADP-A使用時 [R][C] [ENTER] = パラレルI/F受信(本体全バッファ領域へ入力)

*6. ADP-A使用時 [T][R] [ENTER] = シリアルI/F送信(選択されたデバイスサイズ範囲での出力) *6. ADP-A使用時 [T][C] [ENTER] = パラレルI/F送信(選択されたデバイス範囲で出力)